

関西市民連合が発足

安保法制廃止・立憲主義回復めざす

安保法制に反対し、関西と立憲主義の回復を求める各地で運動してきた諸団体「関西市民連合」を立ち上げた有志が「安保法制の廃止」をめぐり、7日、大阪市内で記者



会見しました。

関西市民連合は、▽安保
関連法の廃止▽立憲主義の
回復（集団的自衛権行使容
認の閣議決定の撤回）▽個
人の尊厳を擁護する政治の
実現—を目的とし、まずは
今夏の参院選で、目的を共
有する市民・野党統一候補
の当選をめざします。

参院選の1人区、滋賀、奈良、和歌山各県で統一候補
擁立を促すほか、関西全域
で、2000万署名や街頭
宣伝、シンポジウムを通じ
て、安保法制の問題点、野党
共闘の必要性を訴え、機運
を高めたとしています。

各団体の有志で構成し、

会見した、関西市民連合
を立ち上げた市民団体の
有志7日、大阪市

賛同団体を募ります。会見
には、SEALDs、KANSAI（シールズ関西）、
安全保障関連法に反対する
関西の大学有志の会、安保
関連法に反対するママと有
志の会@兵庫、SADL
（サドル）の有志が出席。

大学有志の会の岡野八代
同志社大学教授は、政権与
党が野党共闘を「思想信条
の違いを無視した野合だ」と
批判していることに触れ
「思想信条の自由を保障す
る憲法を踏みにじっている
のが現政権だ。個人の尊厳
を守る土台である立憲主義
を回復するため運動を広げ
たい」と述べました。

シールズ関西の塩田潤さ
んは「市民と政治家は対等
の関係だ。政治家への期待
やお願いでなく、この3項
目の実現を求めていく」と
話しました。

発足後初の企画として、

21日午後1時から大阪・梅
田のヨドバシカメラ前で、
野党各党を招いた街頭宣伝
を行う予定です。